

【鹿追町】

端末整備・更新計画

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
① 児童生徒数	419 人	420	412	385
② 予備機を含む整備上限台数	481 台			
③ 整備台数 (予備機を除く)	419 台			
④ ③のうち 基金事業によるもの	419 台			
⑤ 累積更新率	100%	100%	100%	100%
⑥ 予備機整備台数	62 台			
⑦ ⑥のうち 基金事業によるもの	62 台			

(端末の整備・更新計画の考え方)

(更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について)

○対象台数：454 台

○処分方法

- ・ 使用済み端末を公共施設や福祉施設など地域で再利用 : 454 台
- ・ 小型家電リサイクル法の認定事業者に再使用・再資源化を委託 : 0 台
- ・ 資源有効利用促進法の製造事業者に再使用・再資源化を委託 : 0 台
- ・ その他 ()

○端末データの消去方法

- ・ 自治体の職員が行う
- ・ 処分事業者へ委託する

【鹿追町】

ネットワーク整備計画

- 鹿追町の小中学校 6 校全てで、必要なネットワーク速度が確保できている。
- 令和 6 年度内に 6 校全てでネットワークアセスメントを実施し、解決すべき課題はなかった。

【鹿追町】

校務 DX 計画

令和2年度内に、ゼロトラストの考え方にに基づきアクセス制御によるセキュリティ対策を十分講じた上で、校務系・学習系ネットワークを統合した。

このことにより、校務支援システムのクラウド化と教職員用端末の一台化を組み合わせることで、ロケーションフリーで校務系・学習系システムへ接続可能な環境を整備し、教職員一人一人の事情に合わせた柔軟かつ安全な働き方が可能となった。

また、汎用のクラウドツールの積極的な活用により、教職員や校内・校外の学校関係者、教育委員会職員の負担軽減・コミュニケーションの迅速化や活性化が可能となった。

学校の業務に関する主要なシステムをクラウド化することにより、レジリエンスの観点から、大規模災害等が起きた場合にも業務の継続性を確保することができた。

今後は、クラウド上やサーバ上に存在する様々なデータを自動的に収集、分析、加工して簡潔にまとめ、集計値や表、グラフなどで視覚的に分かりやすく一覧化したダッシュボードを創出することを目指す。

各種ダッシュボード機能の実装によって、散在しているデータが分かりやすい形で統合的に参照可能となることで、経験や勘のみではなく、データを参考にしながら、

- 一人一人に応じたきめ細かな指導の充実や、
 - 学校経営判断の迅速化や適正化、
 - 教育委員会による学校支援や教職員ケアの充実、学校経営指導の効率化、資源配分の見直し
- につなげる。

【鹿追町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

- 新たなICT環境や先端技術の活用等による学習の基盤となる資質・能力の確実な育成，多様な児童生徒一人一人の興味・関心等に応じ意欲を高めやりたいことを深められる学びの提供
- 学校ならではの児童生徒同士の学び合い，多様な他者と協働した探究的な学びなどを通じて，地域の構成員の一人や主権者としての意識を育成
- 生活や学びにわたる課題(虐待等)の早期発見等による安全・安心な学び

2. GIGA第1期の総括

- 小中高における1人1台端末環境の実現，デジタル教科書等の先端技術や教育データを活用できる環境の整備等による指導・支援の充実，ICTの活用による校務の効率化と教育政策の改善・充実等
- ICTの活用環境整備等による新しい時代の学びを支える学校教育の環境整備
- ICTの活用による小中連携，学校施設の複合化・共用化等の促進を通じた魅力的な教育環境の実現

3. 1人1台端末の利活用方策

- 「令和の日本型学校教育」を構築し、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを実現するためには、ICTは必要不可欠
- これまでの実践とICTとを最適に組み合わせることで、様々な課題を解決し、教育の質の向上につなげていく
- ICTを活用すること自体が目的化しないよう留意し、PDCAサイクルを意識し、効果検証・分析を適切に行うことが重要であるとともに、健康面を含め、ICTが児童生徒に与える影響にも留意
- ICTの全面的な活用により、学校の組織文化、教師に求められる資質・能力も変わっていく中で、Society5.0時代にふさわしい学校を実現